

## 風水害に備えてまずチェック!

### ✓ 風水害の備えチェックシート

風水害の危険を減らすために、以下の項目をチェックしましょう。

- 家の周りの浸水常襲箇所を把握している。▶P51
- 土砂災害の危険区域の有無とその場所を把握している。
- 植木鉢やアンテナなどが風で飛ばされないように固定している。
- 気象情報などの入手方法を知っている。
- 懐中電灯や非常持出品を準備している。▶裏表紙
- 側溝や排水溝、雨どい等のごみを除去している。▶P20
- 避難時の家族の合流場所をあらかじめ決めている。
- 災害用伝言ダイヤル「171」等の連絡方法を家族で決めている。▶P23

チェックが付いていない項目を、家庭で話し合しましょう。



備えるー風水害編

風水害のことを知っておこう!

### Q 集中豪雨から家族を守るためにはどうすれば?

**A** 地域の水害のリスクを把握しておくことで、日ごろの備えも違ってきます。まずは住んでいる場所が水害を受けやすい地域か、過去の被害の有無などを調べて確認するとよいでしょう。また浸水の深さも場所により差がありますので、事前に避難経路を確認しておくことも重要です。水害リスクは水害対応ガイドブックや「岡崎市わが街ガイド」の水害リスク情報ページで確認できます。  
<https://www2.wagmap.jp/okazakicity/>



### 家庭でできる浸水対策!

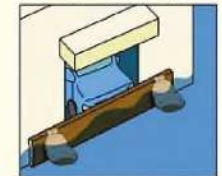
浸水被害軽減の取り組みとして、市民の皆さんが自由に使えるように、「土のう倉庫」を各所に設置しています。どなたでも24時間利用することができますので、「ぜひ」ご活用ください。なお、出水期（6～10月）以外の時期は、倉庫のカギを閉めてあります。詳しくは、岡崎市ホームページ（土のう倉庫）をご覧ください。「土のう倉庫設置箇所位置図」や「土のう倉庫の利用方法」について確認できます。

#### 【土のうを利用した浸水対策の例】

家屋への浸水を防ぎます



板などを押さえて浸水を防ぎます



お問合せ先 **土木建設部河川課** 市役所 西庁舎3階 ☎23-6899

### 岡崎市では風水害に備えて以下の補助を行っています。

#### ○土砂災害対策改修事業費補助金

土砂災害特別警戒区域内の既存住宅等において、土砂災害対策を実施する場合、改修費の補助が受けられます。

#### ○瓦屋根耐風対策事業費補助金

強風や地震による住宅の瓦屋根の脱落被害を軽減するために瓦屋根の診断や改修を行う場合、補助が受けられます。

お問合せ先 **都市政策部住環境整備課**※ 市役所 西庁舎1階 ☎23-6709

※令和7年4月より都市政策部住環境政策課

#### ○雨水貯留浸透施設設置補助制度

##### 【制度内容】

雨水貯留浸透施設を設置するための工事費又は材料費の2分の1を補助(上限9万円、千円未満の端数は切捨て。施設毎の上限設定あり)

##### 【補助対象】

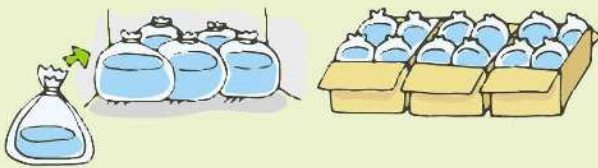
- 公共下水道事業計画区域内
- 宅地又は雑種地に設置する雨水貯留浸透施設
  - ①既存浄化槽転用雨水貯留槽 ②雨水貯留タンク ③雨水浸透ます ④雨水浸透管 ⑤雨水浸透側溝



お問合せ先 **上下水道部サービス課** 市役所 西庁舎6階 ☎23-6338

**1** Part 身近なもので  
浸水対策

浸水を防ぐ土のうは、ゴミ出し用のポリ袋を二重にし、半分ほど水を入れたら完成です。すき間なく並べたり、段ボールに入れて連結すれば強度がアップします。古新聞や雑誌の束を縛って並べるのも一つの手段。ただし、避難のタイミングを逃さずに。



**2** Part 浮き輪や  
ベビーバスも活用

安全確保のために、洪水時に避難する際は棒や傘を杖代わりにして、水面下の安全を確かめながら進みましょう。また、幼児連れの避難は浮き袋やベビーバスを活用すると移動がスムーズです。浮力のあるクーラーボックスは、濡らしたくないものを運ぶのに役立ちます。



**3** Part 排水溝の  
逆流浸水にご用心

雨量が排水能力を上回ると、トイレや浴室などの排水溝から泥水が逆流する恐れがあります。その対策として、ポリ袋を二重にして半分程度の水を入れ、空気を抜いて口を縛ったものをトイレの便器の中や浴室排水口の上に乗せておきましょう。



**4** Part 側溝の清掃活動を  
ご近所いっしょに

冠水対策として、普段から住まいのまわりの側溝を掃除し、水はけをよくしておきましょう。たとえば、ご近所で声をかけあい、地域ぐるみで清掃活動を行えば、被災時にも住民同士で力を出しあう「共助」の意識向上にも役立ちます。



**5** Part 雨の日の様子チェックで  
異変に気づく目安を

豪雨の際、危険を感じ取り、自主避難のタイミングを的確に判断できるよう、ふだんの雨降りの日に、川の様子をチェックしておきます。水のごり具合や流れの速さ、流水音等を把握しておけば、異変にもいち早く気づけるでしょう。



**6** Part 車両の水没被害に  
遭わないために

平成20年8月末豪雨では車両の水没被害も多く発生しました。身近な危険箇所を把握しておくとともに、脱出用ハンマーなども常備しておきましょう。また大雨に見舞われた際、冠水の恐れがある道路は迂回し、すぐに高台などへ移動しましょう。

